◆◆◆◆◆◆ 2018 年 6 月 23 日（土）午後の部　◆◆◆◆◆◆

≪講演 5≫

「教室や試験での ICT を利用した合理的配慮の実際」

【日時】2018 年 6 月 23 日（土）13：00～14：30（90 分）　【会場】橘
【講師】近藤 武夫（東京大学）

【講演要旨】
教科書を読むこと，ノートを取ること，試験問題を読むこと，解答用紙に解答を書くことなど，教室や試験の場面で，読み書き計算の困難のある児童生徒は様々な困難に出会う。キーボード入力や音声認識，音声読み上げ，数式入力，計算機などの ICT 活用と，音声教材など読むことを支援する教材により，児童生徒の学習機会の保障を行うことができる。通級と所属学級，家庭学習でどのように連携して ICT 活用を行っていくか，その後の進級や進学でどのように移行支援を行うかなど，ICT 利用と合理的配慮の進め方と体制整備の実際について講義を行う。

◆◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆◆ 2018 年 6 月 23 日（土）午後の部　◆◆◆◆◆◆

≪講演 7≫

「発達障害と愛着障害の理解と支援」

【日時】2018 年 6 月 23 日（土）13：00～14：30（90 分）　【会場】白檮 1
【講師】小野 純平（法政大学現代福祉学部臨床心理学科）

【講演要旨】
重篤な愛着の障害は、多動性、不注意、衝動抑制の難しさなど、一見して発達障害と類似した特性を示します。しかしながら、発達障害が幼児期においてすでに発現している中枢神経系の機能不全に起因する障害であるのに対し、愛着障害は繰り返される虐待やネグレクトといった劣悪な成育環境との相互作用によって生じる後天的な関係性の障害であることから、発達障害とは異なる視点の支援方法が求められます。本講演では、愛着の発達的形成のプロセス、愛着障害が生じるメカニズム、発達障害と愛着障害の共通性と差異、現場での見立て方、学校でできる支援法などについて概説します。

◆◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆◆ 2018 年 6 月 23 日（土）午後の部　◆◆◆◆◆◆

≪講演 9≫

ワークショップ

「学習に困難のある子どもの事例検討ー実態把握から個別の指導計画作成へー」

【日時】2018 年 6 月 23 日（土）13：00～16：15（180 分）　【会場】白橿 2

【講師】梅田 真理　（学校法人　宮城学院女子大学）

田中 容子　（三鷹市教育委員会）

惠良 美津子（横須賀市療育相談センター）

山下 公司　（札幌市立南月寒小学校）

【ワークショップ概要】

今回は、学習障害が推測される小学生の模擬事例を基に、実態把握について情報収集のポイントや収集した情報の整理の仕方をグループワークで実際に体験します。また、実態把握の結果から長期目標、短期目標とともに個別の指導計画を立てる過程についても、グループワークを行います。実際の支援に生きるスキルを磨きましょう。

◆◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆◆ 2018 年 6 月 23 日（土）午後の部　◆◆◆◆◆◆

≪講演 10≫

「大学における合理的配慮」

【日時】2018 年 6 月 23 日（土）13：00～14：30（90 分）　【会場】第 8 会議室
【講師】高橋 知音（信州大学教育学部）

【講演要旨】
特別支援教育のない大学において、発達障害のある学生への支援における重要なキーワードである「合理的配慮」について、理解を深める。妥当な合理的配慮を提供するための要件を検討し、試験や授業における具体的な配慮の内容について提案できるようになることを目標とする。
主に初等、中等教育に関わっている人にとっては、高校までと異なる大学の現状を理解することで、将来、大学進学の可能性のある児童・生徒にとって、高校卒業までにどのような力を身につけるべきかについても考えながら支援を進められるようにする。

◆◆◆◆◆◆